

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	倉庫区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
303	2007/06/29	70303	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ベブリン	ブタの胃液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
304	2007/06/29	70304	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ラードウォータ	ブタ	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
305	2007/06/29	70305	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	フェツイン	ウシの血清由来	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
306	2007/06/29	70306	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	パンクレアチン	ブタの膵臓由来	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
307	2007/06/29	70307	全薬工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	米国	不明	無	無	無			
308	2007/07/03	70308	バイオジェン・アイデック・ジャパン	インターフェロン ベクター-1a(遺伝子組換え)	ウシトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	BSE	Canadian Food Inspection Agency 2006年12月18日	2006年8月9日、北Albertaの農場で牝牛が短期間の神経学的症状を呈した後、死亡した。2006年8月23日、CFIAはBSEであると推定した。カナダにおける8頭目のBSE牛である。死体は管理され、死体は確保され、焼却された。どの部位もヒト食料または動物の飼料システムに入っていない。このウシは死亡時79月齢の未登録Angus雄牛であり、当該農場で出生し、移動したことはなかった。国際的ガイドラインに従った疫学的調査が開始された。当該農場で出生または生育した593頭について出生および飼料ノートが実施された。
												BSE	Canadian Food Inspection Agency 2007年3月26日	2007年2月7日、CFIAは、2007年1月20日から22日の間に体調不良の後死亡したAlbertaの肉牛はBSEであると推定した。カナダにおける9頭目のBSE牛である。死体は管理され、どの部位もヒト食料または動物の飼料システムに入っていない。このウシは死亡時79月齢の未登録Angus雄牛であり、当該農場で出生し、移動したことはなかった。国際的ガイドラインに従った疫学的調査が開始された。当該農場で出生または生育した593頭について出生および飼料ノートが実施された。
												クロストリジウム感染	YOMIURI ONLINE (2007年2月23日 読売新聞)	千葉県の船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳代の男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫菌」に感染し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告されたのは世界初である。気腫菌は傷口などから動物の体内に入り、筋肉が壊死する「気腫」を発症させる。同センターは、「気腫菌は人にも感染しないというのがこれまでの常識だった。詳しい感染経路を調べるのが今後の課題」としている。